

科目名		国語Ⅳ (Japanese Ⅳ)							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	機械工学科 経営情報学科	学修	1 単位	必修	講義・演習	前期 100 分/週	45 時間		
担 当 教 員		【常勤】 畑村 学							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	(1)発表者として、收拾した資料を参考に漢詩を読解できる。聴き手としては、他者の資料を読み発表内容及び考察のポイントを理解できる。(読む力) (2)レジュメ資料を作成できる。見やすさ分かりやすさを考慮し資料を作ることができる。(書く力) (3)時間配分を考えながら発表の手順を構成できる。聴衆を意識した話し方ができる。本質的な質問をすることができる。質問に対して説得力のある答え方ができる。(話す力) (4)質問を資料にメモしながら発表を聴くことができる。発表の良い点・悪い点を評価できる。本質的な質問やコメントができる。(聴く力) (5)資料のなかで論理的な文章を書くことができる。発表内容をまとめた図解を書くことができる。(書く力)								
学習・教育目標	(G)①		JABEE基準1(2)		(f)				
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目	国語Ⅰ 国語Ⅱ 国語Ⅲ								
教科書	プリントを配布する。								
補助教材等									
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		30		10	60				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】		○		○	◎				/
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】		○		○	◎				
汎用的技能 【コミュニケーションスキル・論理的思考・情報収集・活用・発進力】					◎				
態度・志向性(人間力) 【主体性・チームワーク力】					◎				
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
○1～3年の間に習得した「話す・聞く・読む・書く・考える」の5つの力を総動員し、未知の資料の読解に全力で取り組み、説得力のある考察を記した資料を作成し、制限時間内で、効果的なプレゼンテーションを行う。 ○プレゼンテーションを行う機会は1回しかないため、担当日に間に合うように早めに準備に取りかかること。 ○資料の完成までに3～5週間、プレゼンテーションの練習に1週間はかかる。 ○資料の評価が80点をクリアすれば、プレゼンテーションの練習に取りかかる。 ○事前プレゼンテーションの評価が、授業前日までに80点をクリアすれば、当日プレゼンテーションすることができる。 ○翌週の担当者を優先的に指導する。担当日に間に合わなかったグループは後回しにする。									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス①	○シラバスをもとに、授業内容や学習到達目標等を理解する。 ○効果的なプレゼンテーションの方法について理解する。 ○資料作成方法について学習する。 ○図解の方法について学習する。 ○簡単な図解資料を作成し、それをもとにスピーチやプレゼンテーションを行う。	○担当する詩を、畑村研究室や図書館の本、インターネットを利用して探す。 ○簡単なプレゼンテーションを行うために、レポートとして図解資料を作成し、それをもとに授業でプレゼンテーションを行う。
2	ガイダンス②		
3	ガイダンス③		
4	プレゼンテーション①	○自分たちで選んだ漢詩について、詩のテーマや内容を理解し、所定の資料にまとめることができる。 ○漢詩に関して調べたり考えたりしたことを、図解資料にまとめることができる。 ○作成した資料をもとに、効果的なプレゼンテーションができる。 ○他者のプレゼンテーションに対して、本質的で具体的な質問やコメントをすることができる。 なお、プレゼンテーションは、2人1グループで、1週に3～4グループが行う。順番は、ガイダンスの際に決める。 プレゼンテーションの準備は次のような手順で行う。 ○各グループが、漢詩1首を所定の日までに選ぶ。 ○所定の日までに、A4用紙×4枚の資料を完成させる。 ○資料には、漢詩の本文、書き下し文、口語訳、語釈、詩人の紹介、詩題の解説、考察を行う。考察には、考察内容をわかりやすくまとめた図解資料を掲載する。 ○聴く側の学生は、プレゼンテーション後に質問する。質問の内容やレベルは「聴く力」の評価の対象となる。また、「審査用紙」を用いてプレゼンテーションを審査・評価する。 ○プレゼン終了後、発表者は審査用紙の結果を整理し、「まとめプリント」を作成して次の授業までに提出する。	○担当する詩を調査する。 ○プレゼンテーションの資料の作成する。 ○プレゼンテーションの練習をする。 ○プレゼンテーション審査用紙のまとめと、質問に対する回答の準備を行う。 ○他のグループのプレゼンテーションの練習に立ち会い、アドバイスやコメントを行う。 ○授業で出されたレポート課題の作業を行う。
5	プレゼンテーション②		
6	プレゼンテーション③		
7	プレゼンテーション④		
8	プレゼンテーション⑤		
9	プレゼンテーション⑥		
10	プレゼンテーション⑦		
11	プレゼンテーション⑧		
12	プレゼンテーション⑨		
13	プレゼンテーション⑩		
14	プレゼンテーション⑪		
	期末試験		
15	試験返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	○テスト内容の確認を行う。 ○半期の学習内容の確認を行う。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			20 時間
自学自習			25 時間